

ずいそう

新潟近郊の温泉漫遊記

赤池利孝



入社後はほとんどが関東エリアでの勤務でしたが、4年前の3月に転勤を命じられ生まれて初めて新潟の地を踏みました。

入社以来38年勤務し運良く？単身赴任を免れ、自分で食事を作ったことも掃除・洗濯をしたこともほとんどなく過ごしてきました。当時56歳になったこともあり、当然女房も単身生活では大変だと思い帯同してくれるかと思いきや、何処で情報を得たか分かりませんが「冬になれば雪が多くお天道様が見られない所には行きたくない」とのつれない言葉でありました。何とか単身赴任を逃れたいためにいろいろ考えたあげく、赴任当初に会社の先輩から言われた「北陸は酒やごはんもうまいが温泉も最高だよ」の言葉を思い出し、2人の共通の趣味である温泉に月2回以上宿泊で連れて行く事を条件に帯同をお願いした所すんなり了解してもらった次第です。

当初はどこの温泉が良いか悪いかもまったく分からなかったのが、地元の同僚や居酒屋の店員、或いはホームページなどの情報を収集し、新潟県近郊の温泉に行くことと相成りました。最初は宿泊で行っていましたが、安上がりで行ける日帰り温泉も数多くあることが分かったので徐々に日帰り温泉を増やしていくことにしました。

宿泊の温泉は新潟県の咲花温泉を皮切りに、月岡・瀬波・村杉・赤倉・岩室・松之山・蓬平・貝掛・麒麟山・佐渡相川・大佐渡温泉の12箇所、富山県は大牧・庄川温泉の2箇所、石川県は和倉温泉、山形県はあつみ温泉、福島県は芦の牧温泉、群馬は法師温泉の計18箇所行く事ができました。日帰り温泉は遠方を避け新潟県内のみとし、ハツカ石・角田山・えちご川口・秋葉・花みずき・田上ごまどう・弥彦桜井郷・さくらんど・聖籠観音・紫雲寺・城山・福寿・多宝・安田・八木ヶ鼻・瀬波・蓬平の17箇所に行き宿泊と合わせて35箇所の温泉巡りを堪能できています。ただ温泉に浸かって終わりではつまらないので自宅に帰ってから女房と2人でランク付けを行い、それを酒の肴にして盛り上がっています。

ランク付けは宿泊した温泉ホテルの風呂・部屋・景色・料理・サービス、日帰り温泉の場合は風呂・休憩

施設・景色・料理の項目で点数を付けて決めています。その点数の高い所にはリピーターとなって通うこととし、すでに5回以上行っている所もあります。

私の住んでいた千葉県内の自宅は近くに温泉がない所です。片道20kmから30km位車で走れば温泉がありますが、数が少なく地域柄交通量も多くて時間がかかるため、なかなか温泉に入る機会はありませんでした。新潟近郊は何処に行っても良質の温泉が数多くあり、交通量も少なく時間も読めるので片道100km位の日帰り温泉にも行っています。

新潟近郊は素晴らしい温泉ばかりですが、その中で特に印象に残った所を紹介させていただきます。

温泉

- 咲花温泉 …温泉温度や外気温によって3色に変わると言われていますが、特にエメラルドグリーンがきれいです。
- 村杉温泉 …ラジウム含有量は全国トップクラスであり健康に良いとのこと。
- 松之山温泉…日本三大薬湯の一つであり昔の懐かしさを感じます。
- 蓬平温泉 …お湯のねっとり感は他では味わえません。
- 貝掛温泉 …目に良いと言われている温泉でぬるめのお湯はゆっくり入れます。



初めて行った咲花温泉



日本三大薬湯の松之山温泉

景色

瀬波温泉 …日本海が目の前に見え、露天風呂からの夕日は格別です。

赤倉温泉 …日本百名山の一つ越後富士とも呼ばれる「妙高山」を眺めながら露天風呂を満喫できます。

麒麟山温泉…窓から見える雪化粧した阿賀野川の風景は「絵はがき」そのものです。

芦の牧温泉…目の前に山が迫っており溪流と山の紅葉は息を呑む程美しい景色です。

えちご川口温泉…高台にある露天風呂から眺める信濃川はみごとです。

八木ヶ鼻温泉…目の前の五十嵐川と高さ 200 m 以上の八木ヶ鼻の岸壁が圧巻です。

赴任当初女房と約束した「月 2 回以上宿泊の温泉に連れて行く」の約束は果たすことができず「月 2 回以上宿泊の温泉か日帰り温泉に連れて行く」に変わってしまいましたが、それでも満足しているらしく千葉県に帰りたいとの愚痴は聞こえてきません。

これから何年この地に居るか分かりませんが、更に開拓して漫遊記録を作っていきたいと考えています。私と同じような境遇の関東地方などから転勤して来られた方は、新潟県は「冬になれば雪が多くお天道様が見られない地方」であり最初は気分が落ち込むかも知りませんが、掛け流しの温泉にゆっくり浸かれれば気分が晴れると思います。多少遠くても新潟近郊の温泉地に出掛けてみてはいかがでしょうか？

—あかいけ としたか (株)NIPPO 北信越支店 執行役員支店長—

